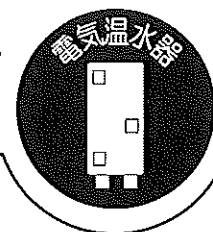


凍結防止について



各配管に保温工事がしてあっても、本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。

寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、据付工事店へ相談して適切な凍結防止対策を行ってください。

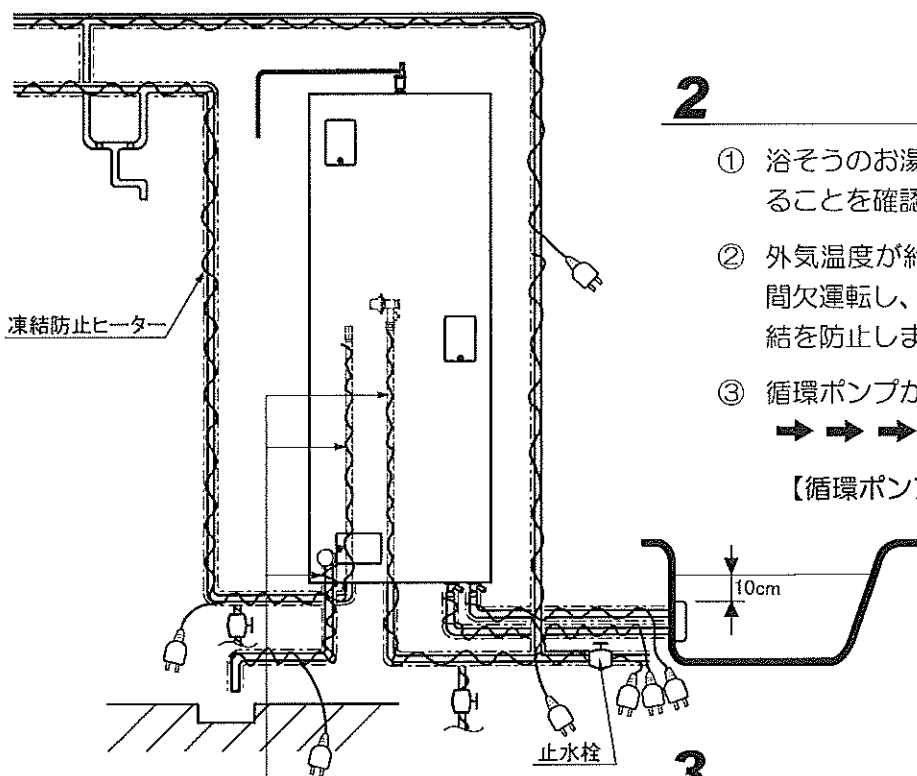
1 凍結防止ヒーターを使う

- ① 凍結防止ヒーターが左図のように、巻かれていることを確認します。
- ② 使用時はすべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はプラグをコンセントから抜いておきます。

2 浴そうの残り湯を循環させる

- ① 浴そうのお湯が循環アダプター上部より 10cm 以上あることを確認します。
- ② 外気温度が約 4℃以下になると自動的に循環ポンプを間欠運転し、ふろ配管に浴そうの残り湯を循環させて凍結を防止します。
- ③ 循環ポンプが運転している時、ふろリモコンに **→ → →** を順に点滅表示します。

【循環ポンプを運転しますので運転音がします】



3 混合水栓を少し開いておく

- ① 給湯温度を「Lo」に設定します。
- ② 流水量を調節します。
各混合水栓を開け、わずかに水がでるように調節します。

外気温が-5℃を下回る場合は、機内の給水・給湯配管、タンク排水管にも凍結防止ヒーターを巻きつけてください。

お願い

冬期、凍結が予想される時は、残り湯を循環アダプター上端より 10cm以上残しておいてください。

浴そうに残り湯がない場合、ふろ配管の凍結防止はできませんのでご注意ください。また、この場合、ふろ配管内の水が浴そうに排出され、浴室でゴボゴボ音がします。